

火災に備えて覚えておきたいこと

初期対応の3原則

1. 知らせる

火災を発見したら、まず大声で周りに知らせます。
校内では身近な先生に火災の発生を知らせます。
場合によっては火災報知器も利用します



2. 消す

消火が可能であれば、その場にいる人が初期消火をすることで火災の拡大を防げます
ただし！どんな小さな火でも一人では消火対応しない（まず「知らせる」が先）こと
各階各所に消火器があります。いざというときに正しく使えるとよいですね

消火器の使い方



安全ピンを指にかけ
上に引き抜く



ホースをはずして火
元にむける



レバーを強く握って
噴射する

3. 逃げる

初期消火が可能なのは本当に小さな火、発生から3分程度だけです。
炎が天井まであがったり、煙が激しいときは消火不能です。い
さぎよく、ためらわずに逃げます。



逃げる際は延焼や煙の蔓延を防ぐため、教室の窓・戸を閉めます。

避難の3原則

1. ためらわない

逃げるときは、服装や持ち物にこだわらずに、できるだけ早く避難します。授業中は先生の指示に従って、それ以外の場合は放送等の避難指示にしたがい指定された避難場所に避難します。



2. 合い言葉は「おはしも」

火災発生時には、火災そのものも怖いのですが、避難時のパニックや混乱で二次的な災害が生じることが心配されます。それを防ぐために

- ① お 押さない
- ② は 走らない
- ③ し しゃべらない
- ④ も もどらない

を守って冷静かつ安全に避難することが大事です。



3. 煙に注意

火災で怖いのは炎よりもむしろ煙です。一酸化炭素などの有毒ガスは吸い込むと判断力や運動能力に影響を与えるだけでなく、一瞬で意識を失うこともあります。

- ◎ハンカチやタオルなどで鼻・口をおおう
- ◎煙が充満していたら、低い姿勢で避難

